

豊田市における生活環境と市民意識の経年変化に関する分析

名城大学 平岡伸泰
名城大学 正員 松本幸正, 櫛田祐次, 栗本譲
豊田市市役所 関 範夫

1. はじめに

地域の都市基盤整備を行う場合、地域住民の意見を計画に反映させることが重要となってきた。そこで本研究では、愛知県豊田市が現在まで実施してきた市民意識調査の結果をもとに、地域の生活環境と市民意識の相関を分析し、豊田市の生活環境に対して住民がどのような評価をしたかを明らかにする。

2. 市民意識の経年変化

豊田市を猿投、高橋、松平、挙母、上郷、高岡の6つの地区に分割し、市民意識調査の項目の1つである「豊田市は住み良いですか、それとも住みにくいですか」という質問に対しての地区別の評価を1971年から約10年ごとに示したものを図1に示す。この図は右下に位置するほど住みよく感じられ、左上に位置するほど住みにくく感じられる。

図1から高岡は、1971年に最も低い評価を受けていたが、徐々に住み良さの評価が良くなっている。逆に松平では1971年に最も良い評価を受けていたのが徐々に悪くなり、2000年には高岡と同じような評価となった。また、猿投、高橋、挙母、上郷では、1971年から1990年までは住み良いと答えた人の割合は増加の傾向にあるが、2000年では全ての地区でその割合は減少している。

3. 住み良さの評価に対する影響要因の分析

豊田市の住み良さに対する評価に影響を及ぼしている要因を明らかにするために、「豊田市は住み良いですか、それとも住みにくいですか」を「非常に良い」～「非常に悪い」の5段階で評価したものを外的基準とし、表1に示した生活環境に対する評価20項目を説明変数として数量化理論Ⅱ類を用いて分析を行った。

図2は1990年と2000年の豊田市全体において、レンジの値を比較したものである。表2、表3は1990年、2000年の意識調査における各地区の数量化理論Ⅱ類の分析結果のうち、レンジの値の大きな上位5項目を示してある。表中の説明変数の右にある数字はその項目に対するレンジの値を示してある。

(1) 豊田市全体の分析結果

図2から1990年、2000年の意識調査ともに「緑・自然の豊かさ」が住み良さに対する評価に影響が大きく、逆に「集会などの施設」は影響が小さい。1990年に影響の小さかった「治安のよさ」、「自治区活動」といった項目が2000年には大きくなり、その逆に1990年には影響が大きかった「近くの夜道の明るさ」、「道

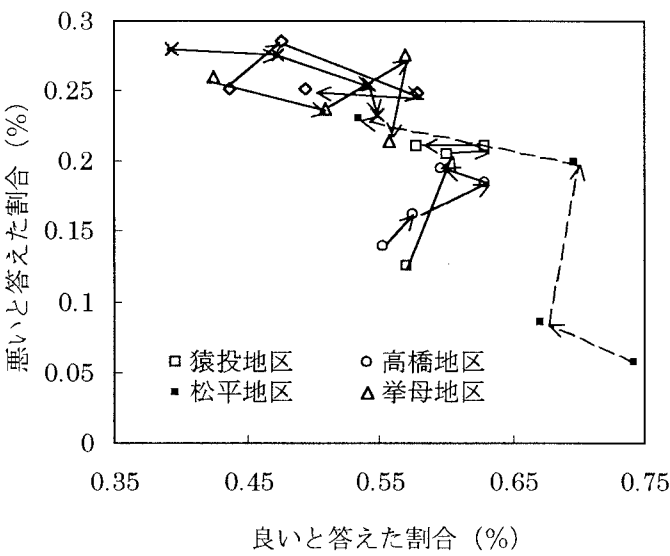


図1 地区別経年変化

表1 説明変数

	評価項目	略
1	日当たり・家の風通し	日当
2	雨水・汚水の水はけ	雨水
3	空気のきれいさ	空気
4	工場の振動・騒音からの静けさ	工場
5	緑・自然の豊かさ	自然
6	ごみ収集	ごみ
7	歩行のための道路の安全さ	歩行
8	近くの夜道の明るさ	夜道
9	治安のよさ	治安
10	川・池などの危険防止	川池
11	道路の改良・舗装の状態	舗装
12	公園・広場への近さ	公園
13	集会などの施設	集会
14	子どもの遊び場の状態	子供
15	近所とのつきあい	集会
16	自治区活動	自治
17	病院・診療所へ近さ	病院
18	通園・通学の便利さ	通学
19	日常の買物の便利さ	買物
20	電車・バスの便利さ	電車

路の改良・舗装の状態」が 2000 年には小さくなっている。また 2000 年においては「工場の振動・騒音からの静けさ」、「日常の買い物の便利さ」といった項目が上位に見られる。

表 2 地区別分析結果（1990 年）

	猿投地区	高橋地区	松平地区	挙母地区	上郷地区	高岡地区
1	近所 2.1273	自然 6.9183	自然 5.3231	電車 1.2874	自然 1.6631	日当 1.2157
2	自然 1.2757	舗装 3.5061	川池 3.4145	近所 1.1230	川池 1.6514	電車 1.1262
3	通学 1.1903	川池 2.9601	自治 3.2493	川池 1.0586	集会 1.4274	自然 1.0062
4	集会 1.0360	自治 2.8338	空気 2.9884	自然 0.9506	空気 1.3872	舗装 0.9816
5	日当 0.9149	空気 2.1551	ごみ 1.8276	買物 0.7681	治安 1.3065	治安 0.9285
相関比	0.3930	0.5337	0.7897	0.3337	0.5067	0.4078
サンプル数	477	243	126	1128	225	468

(2) 地区別の分析結果

表 2、表 3 より猿投地区では「緑・自然の豊かさ」が 1990 年、2000 年ともに 2 位、1 位と影響が大きい。また 2000 年では「治安のよさ」が上位に上がってきていることから

表 3 地区別分析結果（2000 年）

	猿投地区	高橋地区	松平地区	挙母地区	上郷地区	高岡地区
1	自然 1.5613	工場 2.0867	空気 3.3716	買物 1.3275	ごみ 1.0188	自然 1.3177
2	治安 0.9775	自然 1.6871	買物 2.5756	通学 1.2884	集会 1.0078	買物 1.2806
3	買物 0.7654	自治 1.1822	工場 2.3810	自然 1.0993	日当 0.9428	舗装 1.0341
4	工場 0.7267	川池 1.1251	雨水 1.9942	自治 0.8504	工場 0.9367	治安 0.9268
5	通学 0.6634	電車 1.0041	自然 1.8713	川池 0.8002	近所 0.9301	自治 0.7664
相関比	0.3318	0.3955	0.6287	0.4038	0.5312	0.4323
サンプル数	1008	518	170	609	323	630

この地区で治安の変化があったと考えられる。高橋地区でも「緑・自然の豊かさ」が 1990 年、2000 年ともに 1 位、2 位と影響が大きい。2000 年では「工場の振動・騒音からの静けさ」が 1 位になっている、この項目は猿投、松平、上郷でも上位にランクされ、これらの地区はいずれも 1990 年から 2000 年の意識調査で「住み良いと答えた割合」が下がっている。このことから、工場の振動・騒音がこれらの地域の住み良さの評価を下けている主な原因の 1 つであると考えられる。

松平地区では、1990 年、2000 年ともに「空気のきれいさ」の項目があり、2000 年には「日常の買い物の便利さ」が上位にきている。挙母地区では高橋地区と同様に 1990 年、2000 年ともに「川・池などの危険防止」がある。これは矢作川の影響ではないかと考えられる。また中心街のある挙母地区は「日常の買い物の便利さ」の項目が 2000 年で 1 位となっている。上郷地区では 1990 年、2000 年ともに「集会などの施設」があり、2000 年で「ごみ収集」、「日当たり・家の風通し」が大きい影響を与えている。

これはこの地区の社宅の多さといった地域特性の現

われであると思われる。高岡地区では 1990 年、2000 年ともに「緑・自然の豊かさ」、「治安のよさ」が大きな影響を与えている。2000 年は「日常の買い物の便利さ」の項目が上位に入ってきている。このように各地区ごとの地域環境や都市基盤の整備状況の差異が分析結果に表れていると考えられる。

4. おわりに

本研究では、地域の生活環境と豊田市の住み良さに対する評価の関係を数量化理論Ⅱ類を用いて分析した。この結果から地域の生活環境がどのように住み良さの評価に影響を与えているかを解明できた。今後は各地区の土地利用や社会経済指標の変化と住民意識の関係も分析する必要がある。

< 参考文献 > 豊田市：市民意識調査報告書（1971 年、1981 年、1990 年、2000 年）

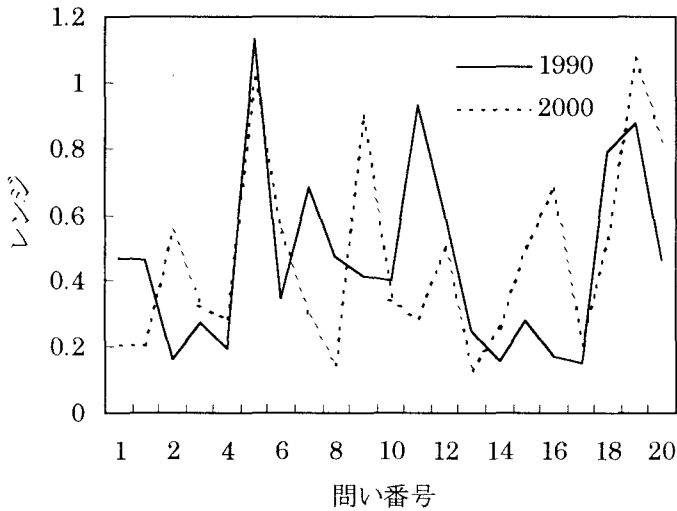


図 2 豊田市全体の分析結果